

ちくぜん

CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

年4回発行

5月・8月・11月・2月

●編集発行

筑前町議会広報特別委員会

電話 0946-42-6622

バックナンバー
はこちらから



“地域を元気に” 楽しく・明るく活動中！



筑前町シニアクラブ連合会役員の皆さん

- ▶ 合併20周年記念特集 P2～
- ▶ 議長あいさつ・臨時会 P4～
- ▶ 12月定例会 P5～
- ▶ 議会活動報告 P7～
- ▶ 町政を問う 一般質問 P10～

第75号

2025.2

振り返る筑前町議会

議長経験の方から合併以降の思い出・今後の期待等のコメントをいただきました。



「筑前町合併当時を振り返り」

第二代 筑前町議会議長
竹永 忠夫 様

私は平成17年3月、平成21年2月まで議会に在籍し当時の出来事や思い出を回想し、二筆寄稿いたします。

当時全国的に市町村合併の波があり、三輪町も執行部と議員で住民説明会を開催いたしました。合併の必要性の有無、合併後の

将来性等町民・議員間で議論を行い、最終的にアンケート調査の結果、三輪・夜須両町の合併（筑前町）でまとまりました。合併協議会でオンリーワン事業として平和事業・大刀洗平和記念館、食の事業・ファーマーズマーケット「みなみの里」を新しい筑前町のシン



「合併20周年を迎えるにあたり」

第三代 筑前町議会議長
金子 保次 様

合併後、20周年を迎えることを思い出しています。成人を迎えた筑前町を皆様と一緒に喜びたいと思います。

当時を少しだけ思い出してみます。私が在籍中は、一つの町では成しえなかった事業も、二つの町の力を併せた事により、町民の方が望まれていた事業がスタートした時期でした。

我々議会人としても、どう有るべきかと全員で話し合いを進めながら、まずはスタートした事業の成功への応援をしながら、同時に町民の声を聞く必要があるとの結論で、各種団体との意見交換をして、皆様の声を町長に、手渡し出来た



合併後筑前町1期目議員（平成17年3月）

「心に残る8年間」

第四代 筑前町議会議長
宮原 均 様



町議在籍8年間を回想し、寄稿させていただきます。

合併後新筑前町議として町民の負託を請け、熱意に燃えながら懸命に勉強した時でありました。数々の思い出の中で紙面の都合もあり二点、思うが儘に記載させていただきます。

【東日本大震災における防災の大切さ】

大震災直後の被災地を訪問し、甚大な被災状況を目の前に呆然とし、備えの大切さを痛感しました。「天を憎まず」の諺にあるように、日頃の災害に対する心構えを痛感しています。

合併20周年を迎え、人口3万人を超す重みのある町へ発展、「とかいなか」の合言葉で更なる発展を祈念、町・議会・町民の一体化のある町へ願っております。

【議会基本条例の制定】議会改革の波の中で先進地訪問、議員の検討委員会における議論を行い、議員の身を切る改革となりましたが、条例を制定した結果、全国の数多くの議会関係者の視察を受けました。

「町民と共に20年 更に未来へ進化する議会へ」

第六・七代 筑前町議会議長
田中 政浩



筑前町が合併20周年を迎えるにあたり、町議会を代表いたしまして、ごあいさつを申し上げます。

本町は、平成17年3月22日に、旧三輪町・夜須町の2町が合併し、新たなまちづくりを目指すべく、努力を重ねてまいりました。

両町の先人たちが積み上げてきた、豊かな歴史をいしずえとしながら、それぞれの持つ伝統と文化を尊重し、それらの良さを生かしつつ、新しい町の一体感の醸成を図ってきました。

合併後、初の町議会は、平成17年3月28日に議員28人が出席し、初代議長をはじめ各種委員を選任し、新しい筑前町を構築するため、全議員一丸となつて、融和と協調の精神に基づき、その職責を果たさんと務めました。

そして、その精神は現在でも脈々と引き継がれております。

またこの間、筑前町議会として一貫した活動テーマは、町民のみなさまに開かれた議会を目指す、ということでございます。

議会基本条例の制定、議会報告会の開催、議会広報の充実、本会議インターネット中継による動画配信等々、情報発信や広聴活動に鋭意務めてきたところでございます。

最後に、筑前町合併20周年を契機として、今後も町民の皆さまが安全・安心に暮らすことができよう、筑前町議会は努力を重ねる所存でございます。今後とも、皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



筑前町議会議長
田中 政浩

新年あけまして

おめでとうございます。



町民の皆様には、健やかに令和7年（2025年）の新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また日頃より、議会活動に對しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、元旦の能登半島地震では、改めて自然災害の脅威をまざまざと見せつけられると同時に、災害への備えを強く再認識させられたところです。被災地におきましては、速やかな復興を願うばかりでございます。

町に目を転じますと、昨年も多くの特徴的な取り組みが展開された年でございます。「チョイソコちくちゃん」の本格的運用が

開始されました。決まったルートや時刻表なしで、町内の皆様の外出を支援する新しい移動手段がスタートしております。

また、「ゴジラー1.0」の関連では、映画撮影に使用された、戦闘機実物大模型「震電」の展示により、大刀洗平和記念館は連日の盛況となりました。さらに「わらゴジラ」においては、ギネスに登録認定され世界的な評価を受けるなど、特筆すべき話題性を提供しております。

議会におきましては、昨年11月に「議会報告会」を5年ぶりに開催いたしております。町民の皆様のご意見を聴き、議会への住民参加の機会を設けるものとして、今後とも積極的に取り組んで参ります。

言うまでもなく、議会活動は、住民生活の安心安全の確保と福祉向上を基本として、町の持続的発展を目的としたものでございます。町民の意思を代弁する機関として、議会は執行部の各種事業を今後とも、多角的に厳しくチェックし、議論を重ねてまいり所存でございます。

結びに、本年が町民の皆様にとりまして、健康で希望に満ちた年となりますことをご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

第3回 臨時会

10月18日の1日間の日程で開催。
承認2件・議案1件が提案され、審議の結果承認、可決した。

一般会計補正予算（第4・第5号） **1億1413万円を増額**

※主に衆議院議員選挙執行予算、合併20周年記念緊急物価高騰対策応援事業

・合併20周年記念緊急物価高騰対策応援事業

※筑前町新米5キロを全住民へ配布

1億1899万円



12月定例会

12月6日から13日の8日間の日程で開催。
報告1件、承認2件、議案10件、発議1件が提案され、審議の結果原案のとおり可決した。主な議案は以下のとおり。

一般会計補正予算（第6号）

10億1199万円を増額

補正後の予算総額：**170億5456万円**

予算増の主なもの

- ・畜産の振興事業補助金 **8億4958万円**
JA北九州ファーム（株）が、櫛木に建設する養豚場への県補助金を交付するもの
- ・障害者自立支援給付金 **4711万円**
障がい者の自立支援サービスの報酬改定に伴うもの
- ・子ども医療費 **2131万円**
子ども医療費の増額見込みによるもの
- ・学童保育運営費 **744万円**
中牟田小学校第2学童新築工事設計委託を行うもの
- ・ごみ収集運搬処理費 **360万円**
令和7年度から実施する使用済紙おむつリサイクル専用回収ボックスを購入するもの

専決処分の報告

- ・緊急物価高騰対策応援事業 **配布用新米購入 6200万円**
- ・三輪小学校給食調理室真空冷却器購入 **752万円**

工事請負契約の締結

- ・みねふるのいけ 峯古野池浚渫工事 **1億7820万円**

筑前町ワンヘルス推進宣言

「人と動物の健康と環境の健全性は一つ」と捉えるワンヘルスの理念に基づく福岡県ワンヘルス推進行動計画の取り組みに連携協力し、施策実践を積極的に推進すること等を町長名で宣言された。

条例の改正（主なもの）

◎筑前町廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部改正

（主な改正点）

令和7年度から実施する使用済紙おむつリサイクル事業のため紙おむつ用指定袋の手数料を規定するもの。家庭・紙おむつ用指定袋…1枚10円など

◎筑前町公共施設使用料のオンライン決済導入に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

（主な改正点）

令和7年度中の公共施設使用のオンライン決済導入を目指し、関係施設の料金体系及び金額等を改正するもの。主に使用料を1時間当たり改正

委員会の活動報告

令和6年12月定例会時に、議場において各委員会の委員長が活動報告をしました。

総務建設常任委員会

今年度の研究課題は、農業・農村の多面的機能の維持・発揮のための「多面的機能支払交付金事業」・資源向上支払交付金（施設の長寿命化）とし、調査・研究を行っています。

この制度は、農業用排水路等の改修により長寿命化を図るものです。この事業を実施中の各組織の現状・課題について調査を実施。その結果、現在の制度は、事業費の制限（上限200万円）がある。また事業費が削減され、長寿命化対策が計画どおりにできない等の課題が明らかになりました。このような課題の改善のため関係機関に要望活動を行います。

次に視察研修の課題を、地域公共交通及び地域コミュニティの活性化とし研修を行いました。地域公共交通については、本町のチョイソコちくちゃんの運行システムを行う



総務建設常任委員会
委員長 柳 雅明

ている（株）アイシン（愛知県刈谷市）で運行予約状況の視察後、刈谷市のオンデマンドバスに試乗。同市では、停留所の大型店舗等の助成金を得て運行費の一部に充ててありました。

地域コミュニティについては、滋賀県野洲市を視察。同市では、以前から校区単位のコミュニティ活動が活発であり、市からの支援も厚く行われていました。

今後、この視察研修で学んだことを、町の施策の活性化のための提言に活かしていきます。

文教厚生常任委員会

11月11日～13日で東京視察研修を行いました。

北区にある世界を舞台に活躍するアスリートの研究・支援の拠点施設「味の素ナショナルトレーニングセンター」を見学。

大田区では、日本で最初にこども食堂を始められた「気まぐれ八百屋だんだん」、カフェスタバ併設と予約本自動受取機が設置されている「池上図書館」、障がいのある方を総合的に支援する施設「障がい者総合サポートセンターさぽーとぴあ」を視察。

世田谷区では、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の充実を目指す「松沢小学校」を視察。知的障害学級・肢体不自由学級と通常学級のこども達が同じ場



文教厚生常任委員会
委員長 山本 一洋

で学んでいました。保護者の思いや、こども達が選べる学校、同じ場で学ぶ環境づくりを行うことにより、一人ひとりを大事にする当たり前の教育の推進に向け努力することを学びました。

今回の研修を通じて、今後の議員・議会活動に活かしてまいります。

議決結果

令和6年12月定例会

区分	審議結果	議員名	原田 邦男	池松 和彦	原口 博文	原田 宏	木村 和彦	石橋 里美	柳 雅明	山本 一洋	石丸 時次郎	奥村 忠義	山本 久矢	河内 直子	寺原 裕明
報告		議案名	報告のみ												
専決	承認	福岡市東区地内での事故にかかる損害賠償													
		三輪小学校給食調理室真空冷却器購入に係る契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町緊急物価高騰対策応援事業における配付用新米購入契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決	可決	筑前町廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町公共施設使用料のオンライン決済導入に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
補正予算	可決	令和6年度筑前町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度筑前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度筑前町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	可決	訴えの提起(町営住宅明渡請求事件)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負変更契約の締結(四三嶋地区工業用地造成工事(4-1工区))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結(峯古野池浚渫工事請負契約の締結)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		財産の取得(ノート型パソコン及び周辺機器)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

第3回臨時会(10月18日)

区分	審議結果	議員名	原田 邦男	池松 和彦	原口 博文	原田 宏	木村 和彦	石橋 里美	柳 雅明	山本 一洋	石丸 時次郎	奥村 忠義	山本 久矢	河内 直子	寺原 裕明
専決	承認	筑前町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	可決	令和6年度筑前町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度筑前町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 田中政浩は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。

請願審査

全員賛成で可決

国に意見書提出



福岡県教職員組合朝倉支部より「**少人数学級推進などの教職員定数改善**」「**義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げ**」に係る意見書の提出を求める請願書が提出された。

〔請願趣旨〕

中学校・高等学校での35人学級を早急に実施することを求め、国の関係機関に意見書を提出するもの。

議会広報特別委員会

議会広報紙”うぐいす”第73号では、「JAとまとカフェ」の6名のボランティアの方々を表紙にし、認知症の人やその家族、孤立しがちな高齢者等の集いの場として、地域住民の方と交流を深められています。

裏面には、東小田小学校2年生の皆さん「生活科の町たんけん」の一環として議場見学の様子を掲載しました。

第74号は、町内で活動されている「燎原太鼓」と「筑前太鼓Wakana」の皆さんです。

どちらも太鼓を通して、子どもたちの人格形成、地域活性化を目的として発足されました。

また、9月議会では決算審査特別委員会が開催されたので、118項目にわたる質問の一部を掲載。

さらに、議員活動としてシニアクラブの方々との意見交換会、東峰村議会との研修会、文教厚生常任委員会の町内視察研修等を掲載。
いろいろな世代の方が広報紙を手にとっていただけのように、また情報をわかりやすく伝えることができるよう、委員会一同取り組んでまいります。



議会広報特別委員会
委員長 石橋 里美

議長の動き

一部を紹介



令和6年

10月18日(金) 甘木・朝倉・三井環境施設組合
環境保全委員会

19日(土) ふくおか町村フェア

20日(日) 筑前町子どものつどい

23日(水)～24日(木)
防衛省全国情報施設協議会
中央要望活動(東京都)

28日(月) 大刀洗町議会建設経済委員会視察

29日(火) 主要地方道久留米・筑紫野線道路建設
促進期成会県庁要望

11月 6日(水) 福岡県町村議会議長会理事会

9日(土) 三井高等学校創立百十周年記念式典

13日(水)～14日(木)
町村議会議長全国大会及び特別講演

20日(水) 両筑衛生施設組合議会定例会

12月23日(月) 甘木・朝倉広域市町村圏事務組合議会定例会
24日(火) 筑前町・朝倉市・東峰村商工会長要望の為
来庁

25日(水) 社会福祉協議会理事会

田中 政浩 議長
辞職のお知らせ

令和6年12月31日を持ちまして田中政浩議長が議員を辞職しました。

平成23年2月1日に初当選以来、13年11ヵ月筑前町議会議員として奉職され、平成31年2月～令和6年12月まで筑前町議会議長として務められました。



第10回議会報告会を開催しました

11月15日(金)



報告会の様子(コスモスプラザ2階)

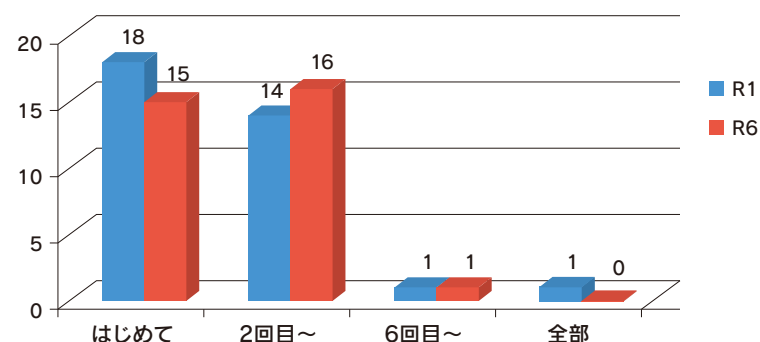


各委員会より近年の活動報告を行いました。町の課題や地域における問題を日々の活動を通して町政に反映できるように取り組んで参ります。区長会を中心に多くの方に参加いただきました。アンケートに寄せられた内容は今後の活動に活かして行きます。



報告会後の意見交換

参加回数



報告会に参加して頂いた方に各種アンケートを取らせていただきました。数年間コロナで出来ませんでしたが、これからは毎年行い、色々な方に参加してもらえる報告会にして行きます。

報告会のご意見・ご感想

- ・ 普段知りえない話が聞け、大変勉強になった。
- ・ せっかくの報告会なのに参加者が少なすぎる。
- ・ 町の課題が見えて良かった。
- ・ 報告会の時間帯や場所の工夫を。
- ・ 議題に対する解決案を入れて欲しかった。 等のご意見を頂きました。

ご意見を反映させ、報告と意見交換を充実させた会にしていきます

一般質問

町政のここが聞きたい!



12月議会定例会では、9名の議員が一般質問を行い、町政全般の現状や方針について報告・説明を求めました。

※一般質問に関する記事は質問者自身で作成しています。

発言の全内容(録画配信)は下記のQRコードからアクセスできます。

◆ 柳 雅明 議員……………P11

- ・ 森林について
- ・ 有害鳥獣について
- ・ 水質調査について
- ・ 久留米・筑紫野線について
- ・ 町長が考える将来像

◆ 木村 和彦 議員……………P12

- ・ 子どもたちの学力・体力向上に向けた取り組みについて(夏休み期間)
- ・ 行政組織の在り方について

◆ 山本 久矢 議員……………P13

- ・ 青少年育成のあり方及び交流育成事業について

◆ 山本 一洋 議員……………P14

- ・ こどもたちを取り巻く状況と、教員の働き方改革について

◆ 池松 和彦 議員……………P15

- ・ 他の市町村との交流
- ・ 他の市町村からの視察

◆ 奥村 忠義 議員……………P16

- ・ 児童・生徒の未来について

◆ 寺原 裕明 議員……………P17

- ・ 町民の安全・安心な暮らしを守ることについて

◆ 原口 博文 議員……………P18

- ・ 子育て支援について
- ・ 安心・安全なまちづくりについて
- ・ 教育設備の整備について

◆ 河内 直子 議員……………P19

- ・ 暮らしを守る取り組みについて
- ・ 子ども達を取り巻く問題について

令和7年3月定例会日程(予定)

3月3日(月)～3月14日(金)

一般質問 3月4日(火)・5日(水)

予算審査特別委員会 3月10日(月)～12日(水)

※日程は変更になる場合があります

一般質問通告書は、2月20日以降、ホームページで公開する予定です。支所窓口や議会事務局でも配布しています。



議会映像の配信はこちらから

12月定例会 ライブ配信アクセス数
362件

やなぎ まさ あき
柳 雅明
議員



森林と水と環境をどう考えるか

森林整備と水の安全性の公表を考える

森林の役割をどうとらえているのか

柳 酸素と水は生命の維持に必要不可欠です。酸素は空気中に21%存在しています。

樹木は生命の維持のために、葉でCO₂と水分を使い光合成を行い「でんぷん」を作成します。その際に葉から酸素を放出します。

水分は、蒸発して上昇することで雲を作りながら、さらに上昇することで、氷結となり、やがて落下しながら雨となって地上に降り注ぎます。

森林はその水分を腐葉土や地中に蓄え、少しずつ集まって川を作りながら下流へと流れていきます。また、自然の循環が始まります。

森林の多面的機能を発揮させる方策をどうとっているのか。

農林商工課長

来年度以降、これまでの意向調査結果を整理・分析し、森林計画等により集約化を図り、森林を効果的に管理・整備することに繋げていく。また、森林環境譲与税を活用し、森林整備に直接つながる事業として、搬出路網整備や林道整備に対する補助に充当している。

自分の山の管理の仕方が解らない方には、地域おこし協力隊や、林業振興プランナーを活用する方法がある。

水の重要性の捉えかた

柳 河川・地下水等の水質検査の結果は。

環境防災課長

環境基本計画に基づき毎年、川と地下水を対象に水質検査を行っている。検査地点は、河川の場合は合流地点以降の下流を、地下水の場合は山間地域と水道未整備地域を行っている。

検査結果は、河川の下流域において、大腸菌とBODが基準値以上として検出される場合がある。

上下水道課長

上下水道で騒がれているPFAS問題は、基準値以下の結果が出ている。

久留米・筑紫野線ぞいの将来像は

柳 小都市と同様に開発が進めば環境が変化する。確かな都市計画のもとに進めてほしい。

都市計画課長

主要地方道久留米・筑紫野線沿線は農用地区域であり、農地以外の利用は厳しく制限されている。

新しい工業団地の形成は、将来像として描かれているので、法手続きにのって開発していく。



光合成の役目を終えた葉が紅葉

き むら かず ひこ
木村 和彦
議員



夏休み期間の 過ごし方について

木村 全国でプール事故が起きている。学校における水泳教室での監視体制は。

教育課長 国が示した水泳事故防止必携に基づき、学級数の教員に加え、監視員を1名以上配置している。

木村 今年も夏休み期間中のプール開放が中止になったが要因は。

教育課長 事故に対しての責任問題や熱中症が懸念されるなどが理由である。

木村 町民プール同様な監視体制で再開できないか。

教育課長 水泳指導者としての条件があり、学校プールにおいて従来の監視体制では、今後も開放は難しい。

木村 熱中症対策にチョイソコちくちゃんを利用できないか。

企画課長 小中学生が登録するには保護者の同意が必要。夏休み期間中の利用は通常の手順で可能。

木村 来年度以降プール開放に向けて多くの方々から意見を聞くべきでは。

教育課長 学校施設活用の視点も含め保護者や学校運営協議会などの意見を聞いて研究していく。

木村 夏休み期間中公民館などを利用して活動している方々に対し支援策は。

生涯学習課長 自治公民館子ども広場づくり等推進事業で助成金を交付している。

木村 夏休み期間中に特化した支援策を考えるべきでは。

教育長 地域の皆様が主体的に子どもたちを支援して頂くことは感謝している。助成に係る実施要綱については現状やニーズに応じて、改善または拡充できるのか検討していく。



2学期制導入の考えは

木村 夏温暖化の影響・教職員の働き方改革や子どもたちの多様性など、教育環境は、大きく変化しているが見解は。

教育長 県内において導入している地域は2割程度あるが、それぞれメリット・デメリットがあり、現在のところ3学期制を継続している。

その他の質問

- ◆行政組織の在り方について。
- ◆本庁舎に全て業務を集約すべきでは。
- ◆町民に対して利便性やサービス向上を考える時期が来ているのでは。
- ◆福祉課を本庁舎に移転する考えは。

ただきたい。実現できるよ
う、よろしく願います。

町長 新たな子どもたちの志を養うような仕掛けも起きている。小郡市長より、小郡・大刀洗・筑前で子どもたちを集め、志ある子どもを育てようじゃないかという呼びかけがあり、小郡の七夕会館に出向いた。近接の自治体からの呼びかけには応じていくべき。こういった事業についても本町からも参加することは少年育成だとも考える。

校区を超えた交流事業 は行っているのか

山本 福岡県少年の船、甘木朝倉少年の船に関わって、毎年毎年新鮮な気持ちを感じていた。夢を抱き、将来に向かって羽ばたく人材の育成と、次代を担う子どもたちが健やかに成長することは、現在の筑前町の願いだと思っている。

生涯学習課長 通学合宿や6年生交流会、中学生ボランティアガイド等を実施している。特に6年生交流会は、中学校への進学前に新たな交友関係を築き、豊かな

人間形成を育むことや、仲間意識を育むための交流を図ることで、中学校進学後の円滑な人間関係を築くことを目的としている。

山本 夢を抱き将来に向かって羽ばたく人材の育成は、筑前町の願いだと思っている。全体を通して、涙あり笑いあり感動ありの本気の活動は壮大なドラマを見ているようである。子どもたちの成長の場になることを願っている。少年の船事業は現在なくなっているが、そこに代わる事業はあるのか。

生涯学習課長 少年の船事業に代わる事業は、平成25年度以降実施されていない。平成25年度以降は、各市町村が通学合宿や体験活動などの取り組みをそれぞれで充実させることになっている。

生涯学習課長 今後どのような事業ができるか、東峰村とも協議していく

山本 フレンドシップについて、検討の余地があると考える。将来の筑前町を担っていく子どもたちを育てていく育成事業を、ぜひ実現に向けて頑張ってい



将来に羽ばたく人材育成は 通学合宿・体験活動を充実する

やま もと ひさ や
山本 久矢
議員



やまもと かず ひろ
山本 一洋
議員

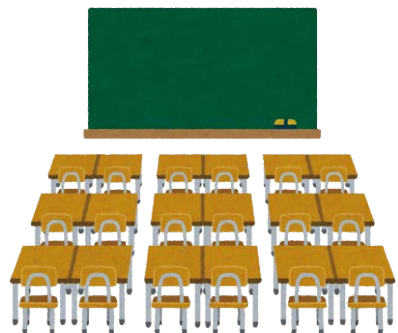


教員の働き方改革で不登校の児童生徒の解消

山本 本町の不登校の児童生徒の状況は。

教育課長 年間30日以上欠席した児童については、令和5年度は、小学校が34名、中学校が80名であり、中学校では増加傾向にある。

山本 安心して学べる居場所づくりとして、校内支援センターの状況は。



教育課長 各中学校に設置しているが、毎日10名程度が利用している。
来年度は、小学校においても、現在準備をしている。

山本 教員は、児童生徒と関わる時間が取れているのか。時間外の解消はできているのか。
教育課長 昨年度に比べ改善しているとはいえない。校長が面談により業務の効率化についてアドバイスをを行っている。

固定担任制から、チーム担任制の導入を

山本 児童生徒のサインや悩みを見落とさないなど、児童生徒の変化に気づくためにも、チーム担任制を導入してはどうか。
教育課長 本町においても、各学校の教員配置等の状況に応じた取り組みを推進している。

山本 チーム担任制は全国でも移行の動きがある。教員不足等の問題もあるが、学習指導員の増員をして教員の負担軽減を図つてはどうか。

教育課長 文部科学省は教員業務支援員や学習指導員を配置しており、来年度も拡充する方向である。その事業を受けることができるよう検討する。



子どもたちが遊ぶ楽しい姿

山本 不登校解消に向けた対策について、教育長に問う。
教育長 教育支援センターと連携して、一日・一時間でも学ぶことができる町のモデルを作りたい。

いけ まつ かず ひこ
池松 和彦
議員



**町外との交流でシティプロモーション
他の市町村との交流は
連携や協定を検討して行く**

市町村との交流

池松 旧夜須町には3ヤスという交流都市があった。当時と現在の活動は。

企画課長 滋賀県野洲町、高知県夜須町と地名の縁で友好交流協定があり、小中学生や職員の交流があった。合併を機に内容を見直し現在は防災応援協定のみとなっている。

池松 今後新たな交流都市は考えていないか。婚活推進やスポーツ、青少年育成の交流等できると思うが。

企画課長 町では平和記念館での南九州市と南さつま市との3館連携協定や、国立夜須高原青少年自然の家、九州電力、筑後信用金庫との包括連携協定を結んでいる。市町村交流に限らず民間企業も含め、連携や協定を検討して行きたい。



町の視察受け入れは

池松 筑前町の名物といえば、春は草場川の桜並木、秋から冬はわらかがし、みなみの里、平和記念館、掩体壕等があるが、町外からの行政視察の受け入れ状況は。

総務課長 視察の受け入れは各課で対応している。直近2年間でみなみの里が42件、次いで平和記念館が多い。視察はシティプロモーション効果もある。受け入れに無理のない範囲で研究し、町の魅力を伝える情報発信にも努めていきたい。

池松 町の立地から考えると全国から福岡市、太宰府市、筑前町、そして朝倉市に繋がる視察や修学旅行のルートが考えられる。ホームページでロードマップを公開しては。



見所いっぱいの筑前町

企画課長 朝倉圏内では観光事業の連携をしている。今後は近隣の市町村との連携も検討して行きたい。
池松 筑前町の良い部分をアピールして行く事が交流する市町村や朝倉地域の発展に繋がる。様々な取り組みを期待している。

おく むら ただ よし
奥村 忠義
議員



デジタル教育の弊害は

奥村 生徒を対象にした調査ではタブレット端末を使った教育より、紙と鉛筆を使った授業の方が集中力も高まるといった結果が出ているそうだが。

教育長 理解の度合いや学習のスピード、学び方の得手不得手と様々だが、タブレット端末を活用することで主体的に学ぶ授業に改善できる。

奥村 読書の文化を確立することが教育の基本とも考えられるが。

教育長 紙かデジタルかの二者択一ではなく、それぞれのよさを最大限に生かしたハイブリッドの教育が大事だと考える。

奥村 諸外国では既にタブレットの見直しをしている国が数カ国あると聞いているが。

教育長 ICT先進国のスウェーデンが、紙の教科書や手書きを重視する動きがあると報道されている。

教育長 紙とデジタル、両方を生かした教育を行う。



若者支援推進法が改正されたが

奥村 国、地方公共団体が、各種支援に努めるべき対象にヤングケアラーが明記されたが、本町においてヤングケアラーと考える子どもの実態は把握しているか。

教育長 児童生徒が家族の介護や日常生活の世話を過度に任される状況にないか、アンケートを年二回実施している。

卒業式で制服の着用を

奥村 小学校の卒業式に中学校の制服を着用できないか。

教育長 中学校の制服着用については、賛否があることから、保護者や児童の自発的な提案や合意が得られることが重要。

奥村 経済的な面も考慮したうえで、希望者だけでも着用しては。

教育長 制服を着用することは保護者や児童の自由だと考える。学校としてその旨を説明することは可能だと思う。



見つけるお手伝いができればと考える。

生涯学習課長 自治公民館長研修会等を行い、自治公民館活動の活性化を図っている。

福祉課長 地域支え合い推進員を社協に配置し、地域の実情に応じた支援を行っている。近年では、新たなつどいの場づくりができてきている。

てら はら ひろ あき
寺原 裕明
議員



コロナ禍後の住民のつながりを 地域に合ったコミュニティづくりのお手伝いをしたい

新型コロナウイルスワクチン接種について

寺原 新型コロナウイルスワクチン接種の効果と副反応は。また、本町で副反応被害はあったか。

健康課長 重症化予防効果が認められたとの報告がある。副反応被害は一定程度あり、本町における被害救済の申請は3件。そのうち1件の死亡事例については、国が審査中である。

寺原 今後のワクチン接種はどうなるのか。個人負担は増えるのか。

健康課長 ワクチンの有効性や安全性は、国によって確認されている。使用されるワクチンは、医療機関で確認できる。

寺原 今回、新しく使われているレプリコンワクチンは日本のみの認可ということだが、安全性は大丈夫なのか。

健康課長 本町では、原則65歳以上を対象に令和7年3月まで病院等での個別接種となり、自己負担額は3千円。感染して治療を受ける場合は、加入している保険の自己負担割合を負担することになる。



住民の「つながり直し」を

寺原 コロナ禍後の一般住民や学校の現状はどうか。

福祉課長 地域の見守り活動を含め、必要に応じた見守り訪問活動を継続してきた。シニアクラブは新たな形での活動も実施されている。また、いきいきサロンは、全33地区で活動が再開されている。

教育課長 これまで制限されていた交流活動や体験活動が再開されてきている。

寺原 住民がつながり直す取り組みが必要であると考えるが。

企画課長 地域により現状や課題が異なり、地域に合った効果的な打開策を

寺原 松延新道区では、有志の方たちのご尽力により、お子さんから高齢者まで集えるスマイルクラブができた。篠隈区では「地域の集まりを守り続けたい」という、役員さん方の熱い思いを区民が支えていて、区の行事はいつも盛況である。地域に見合ったコミュニティづくりがなされるよう、今後とも町からの支援をお願いしたい。

はら ぐち ひろ ふみ
原口 博文
議員



自主防災組織への町 支援強化を

原口 町の自主防災組織の結成状況は。

環境防災課長 今年9月末現在、51行政区中44区で結成されている。

原口 町と自主防災組織が連携した防災訓練等の実施を。

環境防災課長 地域の自主防災訓練の参加等を行ってきた。今後、土砂災害警戒区域等のある地域との訓練の実施を計画している。

子育て支援の充実を

原口 朝日に建設中の保育園の開園により待機児童は解消されるのか。

こども課長 建設される保育園は定員80名で、来年4月開園予定であるが、待機児童を含む全ての入所希望児童の入所は厳しい状況である。

原口 待機児童の解消に向けた今後の対応は。

こども課長 本年度、認可保育園開設の公募を行い、事業所を決定している。令和8年4月までには開園計画であり、これにより待機児童は解消できる見込みである。

原口 令和8年度から実施される「こども誰でも通園制度」の内容と今後の計画は。

こども課長 就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる制度である。今後、国から示される基準により計画を進める。

原口 更なる子育て支援のため小中学校給食の無償化・助成の継続を。

教育課長 無償化の経費を町単独予算での負担は厳しい。本年度、国の交付金により半額を助成、次年度については、今後の動向を見て検討する。



教育施設の 計画的改修を

原口 三輪中学校体育館の改築計画の現状は。

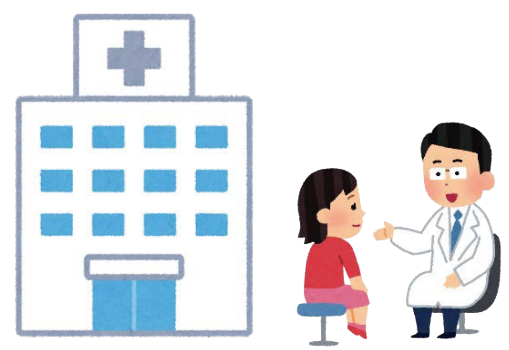
教育課長 改築の必要性は認識している。他の教育施設の整備と併せて検討している。



環境防災課長 元の大きさに戻す計画は現在のところ考えていない。

河内 剪定用に特大サイズを作成する考えはないのか。

環境防災課長 大きくするような計画は、現在のところ考えていない。



燃えるゴミ袋の大きさを元の大きさに

河内 現在、剪定ゴミなどの焼却は全面禁止になっている。剪定ゴミなどいまの大袋では小さすぎて、小分けにしないと処分できない。元の大きさに戻してほしいという要望がある。以前の大きさに戻す考えはないのか。



18歳までの医療費助成を 通院まで拡充を

河内 高校生ぐらいになると通院がほとんどではないでしょうか。保護者の方たちも、通院の助成を望んでいます。現在の入院助成を通院助成まで拡充をしてもらいたい。

健康課長 財政面や近隣自治体の状況等を踏まえ、少子化対策、子育て支援の観点から、段階的に検討していきたい。

健康課長 通院助成まで拡充する際には、現物給付の方向で検討したい。

河内 町村会等を通じて国にさらなる要望をしていくべきではないか。

町長 前向きに考えていきたい。積極的に要望していきたい。

河内 今後、完全無料化を目指すべきと考えるが、町長の考えは。

町長 今後、十分に近隣等の状況等も把握しながら検討していきたい。

かわち なお こ
河内 直子
議員



子ども医療費助成の完全無料化を

今後、検討していきたい

自主防災組織と町の連携強化を

土砂災害を想定した訓練を計画している

筑前町で先人達から受け継ぎ住民の「絆」を大切に活動されている “シニアクラブ(老人会)”の団体について紹介いたします。

今年も「ど〜んとかがし祭り」に筑前町シニアクラブ連合会の役員の皆さんが、手作りの竹馬、お手玉、風車、竹トンボ等を出店されました。その他、定期的に慰霊塔の清掃、各地域の散歩道の清掃、めくばり館裏の花植え等を行って地域活性化に努力されています。

連合会は各地域のシニアクラブ(老人会)の上部団体で会長は竹永忠夫さんです。高齢化が進み、会員数は減少傾向にありますが、地域発展のため各地域のシニアクラブと連携しながら、永年の経験と熱い情熱をもって日々活動されています。

第二の人生を地域の為に一緒に活動をされませんか。



三並小学校2年生のみなさん 議場へようこそ



三並小学校の児童の皆さんが18名のうち8名が生活科学習の一環として、11月26日に「筑前町議会議場」の見学に来ました。

議会会場内を案内し、たくさんの質問ありがとうございました。

「どうして議会があるんですか」「どんな話し合いをするのですか」等、たくさんの質問ありがとうございました。

議会が身近に感じられたのではないかと思います。



編集後記



去年の7月に変わった新札に最近やっと慣れて来た気がします。約20年前に代わって以来の変更で、デザインは最新のホログラムやユニバーサルデザインを採用しています。20年前と比べると日頃の買い物もキャッシュレスの時代になり、世の色々変わってきています。

しかしお札は千円、五千円、二万円。時代に即した改善もありますが、その中に「変わらない大切な事」もあるのかも知れません。姿かたちは変えても良いが同じ重さの新紙幣。

(池松 和彦)

発行責任者

議長 田中 政浩

議会広報特別委員会

委員長 石橋 里美
副委員長 池松 和彦
委員 原田 邦男
委員 原田 博文
委員 河内 直子